

令和8年9月17日

熊谷市環境部環境政策課

能美防災株式会社妻沼東事業所の周辺井戸における
水質調査結果について（第5回公表分）

能美防災株式会社妻沼東事業所敷地内において、国の指針値を超える「PFOS 及び PFOA（以下「PFAS」）」が地下水から検出されました。

本市では市民の皆様の安全確保を最優先とし、市職員による周辺井戸の利用状況調査及び水質調査を継続して実施しております。

このたび、第5回公表分の周辺井戸水質調査結果並びに事業所排水及び水路の水質調査結果がまとまりましたので、以下のとおり公表いたします。

1 周辺井戸水質調査の概要及び結果

(1) 新たに判明した結果

ア 調査（採水）日

令和8年8月6日（木）から令和8年8月17日（月）

イ 調査対象エリア

これまでに実施した水質調査において、指針値の超過が確認された井戸を起点とし、そこから地下水の下流側にあたる半径 500m のうち、推定される地下水の主流動方向（事業所から南東方向）から、それぞれ左右に 60 度（全体で 120 度）の範囲に含まれる善ヶ島、大野及び弁財地内の井戸。

ウ 調査結果

調査対象エリア等において水質調査を実施した 19 井戸のうち、3 井戸で国の指針値※1 を超過していることが判明しました。19 井戸のうち、飲用として使用されている井戸が 1 井戸ありましたが、指針値の超過はありませんでした。

※1 国の指針値

- ・ PFOS 及び PFOA の合算値 50 ng/L 以下（ng（ナノグラム）は 10 億分の 1 グラムを表す単位）
- ・ 指針値は、体重 50kg の人が水を一生涯にわたって毎日 2L 飲用したとしても、この濃度以下であれば人の健康に悪影響が生じないと推定されるレベル

調査結果（第5回公表分）

調査対象エリア （3頁参照）	PFOS 及び PFOA 合算値 (ng/L)	指針値超過の有無
C	13※	適合
	28	適合
	110	超過
	200	超過
D	5.9	適合
	7.8	適合
	9.1	適合
	9.6	適合
	10	適合
	11	適合
	15	適合
	29	適合
	30	適合
	32	適合
	36	適合
	38	適合
	41	適合
	45	適合
	91	超過

【※は飲用井戸】



※メッシュは一边約 1km で表示

※個人情報保護の観点から、井戸の所在地や詳細な用途が特定されないような公表方法とさせていただきます。

- (2) 今回の調査を含めた累計結果（第 1 回から第 5 回分まで）
これまでに計 73 井戸（超過 28 井戸、適合 45 井戸）の調査を実施しました。

なお、これまでに実施した全井戸の個別の水質調査結果につきましては、市ホームページにて公表しておりますので、そちらを御参照ください。

調査対象エリア	調査井戸数	指針値超過	指針値適合
A	6(0)	4(0)	2(0)
B	16(0)	4(0)	12(0)
C	20(3)	15(0)	5(3)
D	31(6)	5(2)	26(4)
計	73(9)	28(2)	45(7)

【() は飲用井戸で内数】

(3) これまでの調査結果に基づく地下水汚染の広がり の考察

現時点における周辺地下水への汚染の広がりについて、以下の傾向が確認されました。

ア 道閑堀排水路の右岸側（ハツロ方面）のエリアにおいては、指針値超過は確認されていません。

イ 指針値を超過した井戸の位置関係から、地下水汚染は、事業所を起点として、主に「北東から南東」の方向へ扇状に広がっていることが確認されました。

2 事業所排水及び水路の水質調査結果

令和8年7月13日及び8月17日実施分の結果を公表いたします。

調査地点	調査年月	PFOS 及び PF0A 合算値 (ng/L)	指針値超過 の有無
事業所 最終放流口	令和7年6月	1,100	一※1
	令和8年4月28日	30.2	
	令和8年5月22日	139	
	令和8年6月12日	336	
	令和8年7月13日	111	
	令和8年8月17日	910	
道閑堀排水路 接続地点	令和8年4月7日	110	超過
	令和8年4月28日	47.8	適合
	令和8年5月22日	40	適合
	令和8年6月12日	19.6	適合
	令和8年7月13日	389	超過
	令和8年8月17日	92.8	超過

※1 水質汚濁防止法及び埼玉県生活環境保全条例に基づく排水基準はありません。

道閑堀排水路接続地点における 7 月 13 日での指針値の超過を受けて、緊急河川調査を 7 月 30 日に実施しました。

調査地点	PFOS 及び PFOA 合算値 (ng/L)	指針値
事業所排水が道閑堀排水路に接続する地点	26	50ng/L
道閑堀排水路内の備前渠用水合流後の地点	9.8	
道閑堀排水路内の福川合流前の地点	10	
福川の川成揚水機場取水前地点	13	
福川の俵瀬排水機場前地点	13	

7 月 13 日時点での事業所排水が道閑堀排水路に接続する地点では、指針値の超過 (389 ng/L) が確認されましたが、7 月 30 日時点における道閑堀排水路の接続地点及びその下流の福川を含むすべての地点において、指針値を十分に下回る濃度 (9.8～26 ng/L) であることが確認されました。

また、同様に 8 月 17 日での指針値超過を受けて、再度の緊急河川調査を 9 月 1 日に実施しました。

調査地点	PFOS 及び PFOA 合算値 (ng/L)	指針値
事業所排水が道閑堀排水路に接続する地点	12	50ng/L
道閑堀排水路内の備前渠用水合流後の地点	7.5	
道閑堀排水路内の福川合流前の地点	9.0	
福川の川成揚水機場取水前地点	11	
福川の俵瀬排水機場前地点	14	

8 月 17 日時点での事業所排水が道閑堀排水路に接続する地点では、指針値の超過 (92.8 ng/L) が確認されましたが、9 月 1 日時点における道閑堀排水路の接続地点及びその下流の福川を含むすべての地点において、指針値を十分に下回る濃度 (7.5～14 ng/L) であることが確認されました。

(1) 事業者の対応について

能美防災では、事業所地内で排水経路の濃度調査を行い、濃度の高い箇所が確認されたことから、当該箇所に局所的な PFAS 処理装置を 8 月 6 日に導入しました。また、9 月には排水経路の高圧洗浄を行うことにより、PFAS を含有する堆積物の除去をはじめとした、さらなる流出防止対策を行う予定です。

3 今後の対応について

本市では、市民の皆様の安全確保を最優先に、引き続き以下の対応を講じてまいります。

(1) 周辺井戸追加調査及び飲用自粛の周知の実施

超過が確認された井戸からさらに下流側へ対象エリアを拡大し、戸別訪問による利用状況の確認及び井戸水質調査を速やかに実施します。

また、対象エリアの皆様には、安全が確認されるまでの間、井戸水の飲用自粛を引き続きお願いしてまいります。

(2) 周辺監視の継続

事業所最終放流口及び公共用水域（道閑堀排水路）への接続地点において、引き続き定期的な水質モニタリングを実施し、状況の変化を注視してまいります。

(3) 正確な情報の迅速な提供

今後の調査結果等につきましても、市ホームページ等を通じて迅速かつ透明性の高い情報発信に努めてまいります。